

磯部小学校

校長室だより

第17号 令和6年12月23日(月)



12/23 終業式での話

今日で2学期が終わります。そこで、2学期について振り返ってもらいたいと思います。何を振り返ってほしいかという「形」についてです。「形」って何？と思いますね。少し説明します。

皆さんは「外側よりも中身が大事」という言葉を、読んだり聞いたり、言われたりしたことがあると思います。でも、本当は、中身が大事なのはもちろんですが、外側も大事です。形とは、この外側のことです。もっと簡単に言うと、外側は見た目、中身は心ということになるでしょうか。つまり、見た目がきちんとしてくると、いつの間にか心もきちんとしてくるのです。ですから、中身をきちんとするためには形をきちんすることもとても大事なことです。しかし、見た目というのは、自分以外の人から見たことなので、自分自身では気づかないことが多いのです。だから、自分の行動を振り返ることが大事です。

まず、服装や持ち物はどうだったでしょうか。きちんとした服装で過ごせましたか。ズックのかかとを踏んでいませんか？

学校に来るのに関係ないものを持ってきませんでしたか？

姿勢はどうだったでしょう。授業中はよい姿勢で座れましたか？立った姿勢もきちんとしていましたか？

顔の表情はどうだったでしょうか。いつも明るくやる気のある表情でいたでしょうか。

返事やあいさつやお辞儀も形の一つです。はきはきとした返事やあいさつ、きちんとしたお辞儀ができましたか？

ぜひ、そういうことを教室で振り返ってみてください。

ところで、明日から冬休みが始まりますが、冬休みの間には日本の伝統的な行事や文化に触れる機会がたくさんありますね。大掃除、大晦日、除夜の鐘、お正月、初日の出、初詣、お年玉、書き初め、松飾り、七草がゆなどの言葉を聞いたことがあるでしょう。

冬休みにはぜひ、そのような日本の伝統的な文化や行事に触れてみてください。文化や伝統行事には、今話したような「形」が大切にされて残っています。例えば、除夜の鐘は108回と決まっています。おせち料理も、種類が決まっています。それぞれの形には意味があるので、調べてみるのもおもしろいと思います。そういうものにふれて形のよさや素晴らしさがわかると、それが毎日の生活にも生きてくるのではないかと思います。

形のよさを冬休みの間に学んで、それが3学期の生活に生かせるようになると、ますます、素晴らしい磯部小学校になると思います。

3学期は、1月8日が始業式です。皆さんがそろって元気な顔を見せてくれることを、先生方と一緒に楽しみにしています。どうぞ、よいお年を。(抜粋)